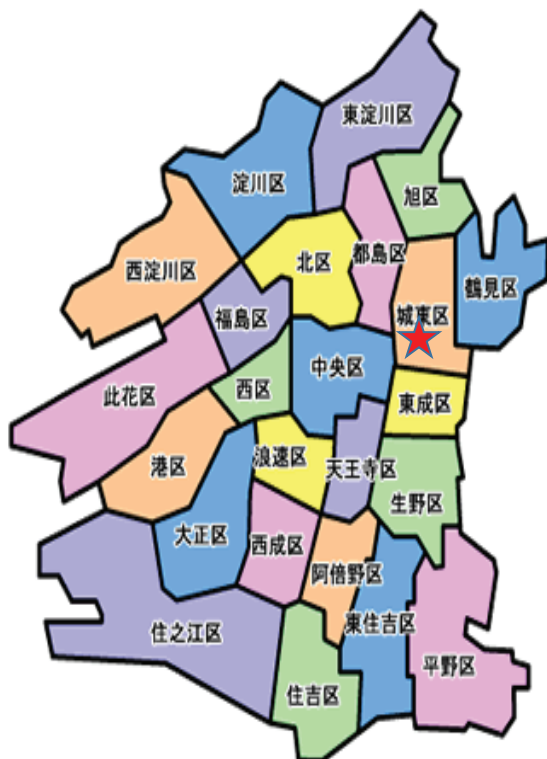


多職種の 情報共有の支援

城東区在宅医療・介護連携相談支援室の取組み

城東区の概況



面積： 8.38 km²

総人口： 167,409人

65歳以上人口：42,787人

高齢化率： 25.6 %

(令和5年10月1日現在 大阪市推計人口より)

テーマに対する取組みのきっかけ

《その1》

- ・ 城東区では情報共有ツールのICT化がまだまだ進んでいない。
- ・ 以前『城東区地域包括ケアシステム』としてICT導入（あんしんパスポート）も継続には至らず。
- ・ ケアマネジャーへのアンケートでは、コロナ禍を経て、ICT化をすすめたい意見もあるが、法人や会社の方針で導入が難しいという意見もあった。

《その2》

- ・ 『医療連携ハンドブック』で病院や地域の診療所の情報を共有していた。



通称赤本



- ・ 病院と診療所、介護施設等の情報。
- ・ 地域分けするときは『包括圏域ごと』になっていて境界が複雑。

《その3》

- ・多職種研修会で地域BCPについて学んだけれど、そもそも災害時の連絡網・情報伝達経路が明確でない。

お盆期間中、早朝に大阪市内の北東部で停電。城東区は通電するまでに時間がかかった地域も・・・。
区内の訪問看護ステーション間ではMCSで繋がり、情報をタイムリーに共有。在宅酸素等の機器は予備バッテリーで危機回避、認知症の方がエアコンの停止に気付かず過ごしている危険性が高く、各ステーションで安否の確認。
それぞれの機関では情報共有するけれど、他機関多職種での共有が難しい・・・。

- ・2018年の大阪北部地震の時も、台風の時も同じことが繰り返されている・・・。

区で統一したICTツールがあれば、みんなで情報共有できるのではないかな？

医療連携ハンドブックや医療マップに医療機関全般の情報があつたほうが便利なのではないかな？

でも、資源情報の冊子は毎年の更新が難しい・・・。

災害時に活用できる情報共有ツールがあったら、連携型BCPもすすみ、地域BCPも見えてくるのではないかな？

過去の研修や勉強会の資料、動画を見られたら・・・。



そこで **連続**



区内関係機関の情報共有ツールにできないか？

- ・ 医療・介護・福祉の資源情報を検索できる
- ・ 災害時の連絡や連携（支援の役割分担）
⇒ 行政にも介入してもらえるよう協議が必要
- ・ 医療と介護の情報共有（患者さんのACPを共有）

情報はIDやパスワードで管理していく

医療機関名： _____ ホームページ： ☐ あり ☐ なし

Eメール： _____

住所		電話		FAX	

午前	午後	月	火	水	木	金	土	日	備考
午前	午後								

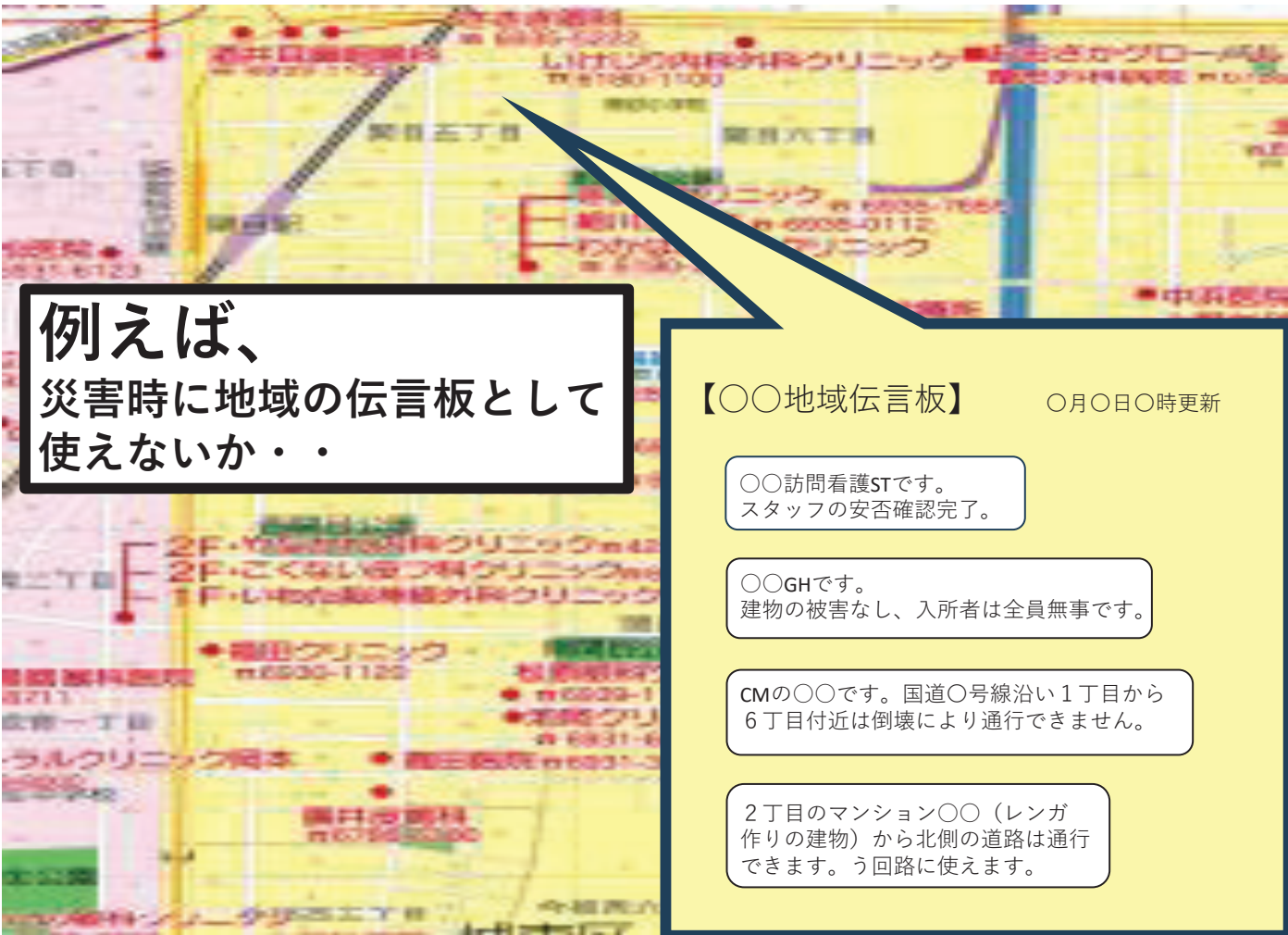
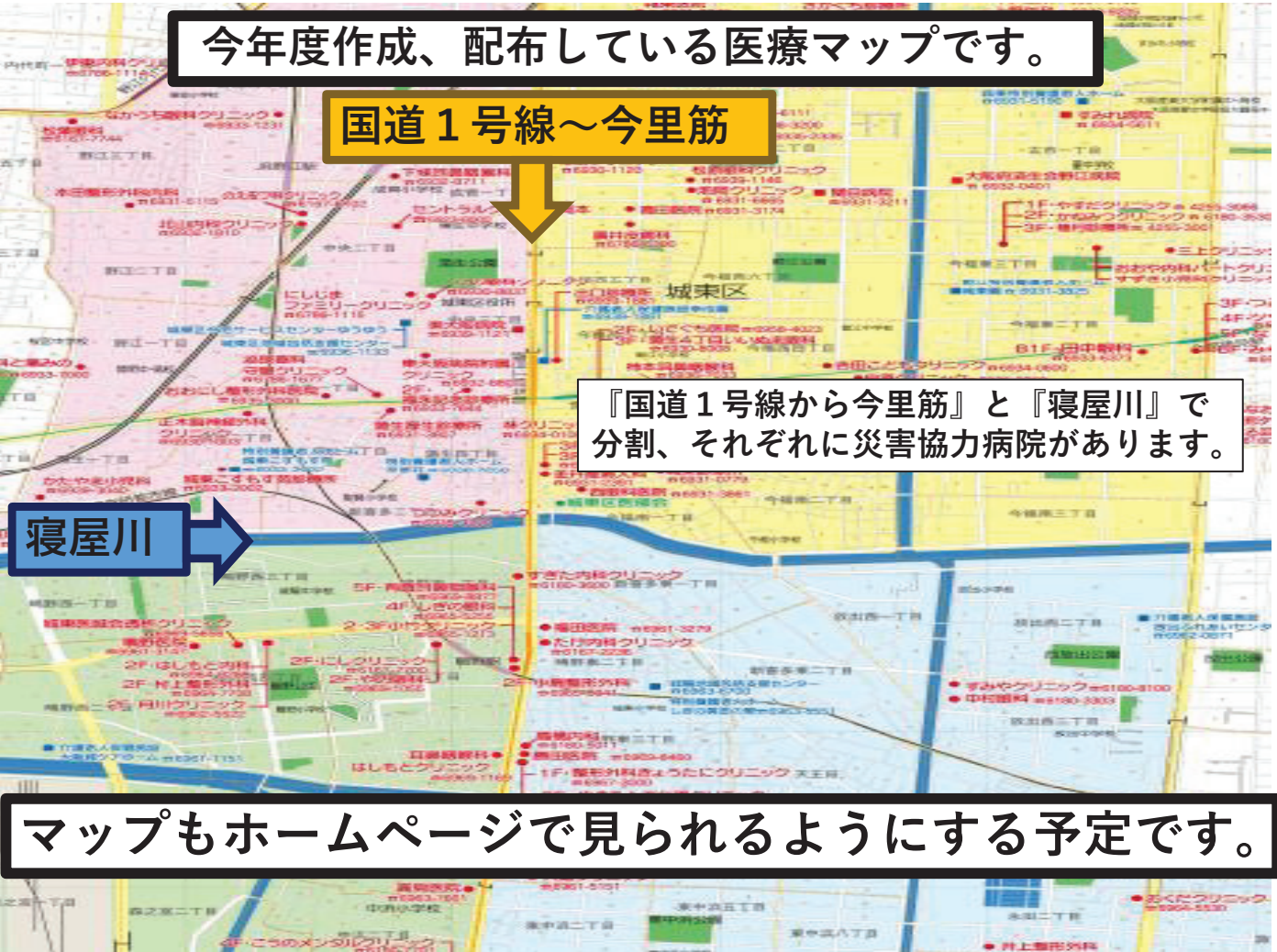
まずは医療資源の情報を共有することから始めます

急性期（ ☐ 床）	地域包括ケア（ ☐ 床）	回復期リハ（ ☐ 床）
医療療養（ ☐ 床）	緩和ケア（ ☐ 床）	障がい（ ☐ 床）
訪問診療	対応している・かかりつけ患者のみ対応・対応していない	医師会 （ ☐ 医師会 （ ☐ 医師会）
往診	対応している・初診も可能・かかりつけ患者のみ対応・対応していない	
訪問診療・訪問看護に関するコメント		
駐車場	あり	台・近隣コインP・なし
施設基準に該当するものに○をつけてください		
在宅時医学総合管理科		在宅がん医療総合診療所
機能強化型在宅療養支援病院		在宅療養支援病院
居宅療養管理指導		その他（ ☐ ）
対応検査（対応可能な検査を記入してください）		
在宅医療（対応可能なものに○をつけてください）		
在宅酸素療法	気管切開管理	疼痛管理（麻薬処方）

年度内に医療資源、来年度は介護、障がい者支援の情報を共有できるようにしたいと考えています。

中心静脈栄養		胸腔・腹腔穿刺			
多職種との連絡方法					
連絡時間	診療時間内		ICツール	MCS	その他
連絡手段	電話		その他	(	)
	FAX				
	メール				

* 医院より（医療機関の特色、各職種連携に関するコメント等）



城東区ACP推進サポーター養成講座

令和4年度に第1期20名、令和5年度に第2期22名
第0期となるネットワーク会議委員を含めると84名のサポーター
がいます。

例えば、
ACPサポーターの活動推進や、活動情報
の共有・交換のツールに使えないか・・・

【サポーターさん募集】

5月12日に〇〇地域ケアフォーラムで人生会議
の講演と『もしバナゲーム』やります。
15時からファシリテーター8名必要です。
サポーターさんご協力お願いします。
連絡先〇〇〇-〇〇〇



【お知らせ】

第〇回ACP推進サポーターのスキルアップ研修があります。
詳細はURLからご確認ください。ご参加お待ちしております。



将来的には、病院・在宅・救急で患者さんのACPを
共有できるような形にできないかと考えています。

今やっと準備段階、課題は山積み

- ・もともとMCSで繋がっている機関もある
 - ・個人情報の取り扱いや活用についての取り決め
 - ・サイバーセキュリティ対策
 - ・どこまで情報を広げるのか（今は区内向け）
 - ・管理者会、連絡会に加入していない事業所も多い
 - ・チャット機能をつけたいけどどうしたらいいの？
 - ・そもそも立ち上げて活用してもらえないと意味がない（ICTに拒否反応がある場合もあり）
 - ・情報更新や継続。
 - ・停電やインターネット接続喪失に弱い。
- 「ほかにも、課題は多々あって書ききれない!!」

**区内の会議や研修会等で多くの意見を聞き、医介連携と拠点の
コーディネーターで連携して改善・修正していく**



ご清聴ありがとうございました